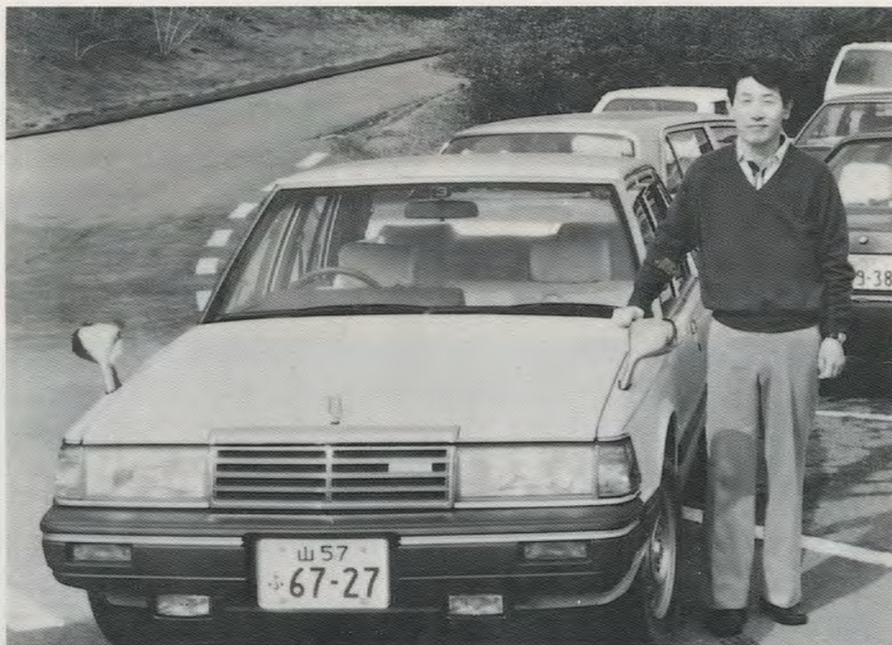


光市医師会報

昭和60年 6月発行

No. 153



my car シリーズ(5)
ルーチェ (マツダ)
前田昇一先生

光市医師会

医師会月間行事

○ 昭和60年度5月度理事会

60.5.10 PM 8:30～ 於光市医師会館

- (1)代議員会の報告 竹中会長
 県医師会報 1064, 1065号参照
- (2)広域集配の件 福本副会長
- (3)その他 竹中会長
- 1) 支払基金、国保連合会、審査委員の推せん依頼について
 - 2) 保健文化賞候補者の推せんについて (県医務課)
 - 3) 労災診療の改定について
 - 4) 安全功労者表彰について (光市安全会議)
 - 5) 下松労働基準監督署管内 (光、下松平生、柳井) で産業医関係の担当理事協議会を持ちたい。
 - 6) 周南三市の健保組合と医師、歯科医師との話し合い——今年は光市担当——について
 - 7) 次期例会は「市立病院をスライドによる紹介」を予定

○ 昭和60年5月度月例会

S 60. 5. 28 PM 7時30分～

於 光市立病院 (会議室)

報告事項及び協議事項

- (1) 第100回代議員会の報告 (竹中会長)
 県医師会報 1064, 1065号参照
- (2) 医師会長会議、互助会支部長会議、山福株主総会、医師連盟会議報告 (竹中会長)
- (3) S 61年度の広域集配について (福本副

会長)

- (4) 今年度の心臓検診について (福本副会長)
- (5) 保険担当理事協議会の報告 (中村琢理事)
- (6) その他

- ・ 光の文化を高める会の入会希望者は医師会迄
- ・ 対癌協会入会の件
- ・ 県立衛生看護学院卒業生名簿の件
- ・ 労働時間の件
- ・ 本庶会員退会保留の件
- ・ 6月1日県医学会リハーサルの件
- ・ 納税組合の件

○ 研修会

「本院のCTスキャンの紹介と脳血管障害の画説」

光市立病院 循環呼吸医長

赤崎 信正 先生

○ 第68回山口県医学会総会及び

第39回山口県医師会総会の

第7回準備委員会開催

S 60. 5. 10 (金) PM 7:00～8:30

光市医師会館

議題 (1) プログラムの確認

(2) その他、具体的事項について

御 挨拶

牛島診療所 朴 貞信

新羅万象蘇生する新緑の候となり、山川草木活気をおびて来たのに、黄昏人生の白髪と皺は増へ、脳細胞は減って可愛そうな様子になりました。“人間は年老いる事を免がれる事は出来ない。老人は社会の一員

として精一杯に働いた挙句の果、肉体的にも精神的にも経済的にも社会生活にうまく応じるだけの能力を次々と失っていく。その一人一人が私達の肉身の姿でもあり、明日の自分の姿でもある”と日医新聞のプリズムに書いてあったのを見て、感激の到りでございました。面白い事に或文明国では老人とは言わずに人生の先輩と言うとかの話でございます。ごもっともの事でもあり、私達の慰めの事ともなって嬉しいやら、有難いやら万感交交でございます。神様の恵みで念願かなって40余年振りに再び渡日出来て無事に有意義に7年間離島牛島で、不行届きながらも医療奉仕しながら、生き甲斐のある日を送った事は私の周囲の方々、即ち模範的光医師会の先輩、後輩の先生方と光市役所の方々のお陰と深く深く感謝にたえない次第でございます。顧みれば、

月例会を始めとし、いろいろの会合、医学会、学術講演会、研修会等参加させてもらい、医学の勉強、人生勉強になりました。勉強と言っても実の所10をきけば8を忘れる位ですから、凡べて押して知るべしでございます。あれは運動会の時等気分は少女時代の変っても身体が言うことをきかないのには情なくなります、とにかく楽しいものでした。思へば、いろいろ私の歴史的一幕となり、帰国しても忘れる事なく何事も眼前に浮び上ると共に感謝の念一杯と思えます。尊敬する光市の諸先生方、お達者で未永く多くの人々の健康を守ってあげるよう、お祈り致しながら、拙文乱筆を終わります。 さようなら

○60年5月7日 PM 6:30~

松屋において牛島診療所 朴貞信先生の送別会が行われた。



医謡会

河内山 清

藤原先生より医謡会の記事の御依頼。本当は「第一回光市医師会老人クラブゲートボール大会に最年少若手有望選手として参加して」と言う長い題の感想文が書きたかったのですが……。謡には「謡」と「お謡」の二種類があるそうです。暇な時奥へ入って謡をうなうた居たら翌日患者さんが来て「昨日は先生ンとこ法事でありましたのんた」と云われガツクリ来るのはお謡の代表選手。お茶を飲み（中にはお酒を飲んで来て酔ざましにお茶を飲む人も居ます）お菓子を食べガヤガヤ云った後「あなたシテをおやりんさんせ」「いえいえあんたおやりなさんせ」と云って役を決め、たっぷりとのどを聞かせ、謡った人はどうもいけませんなサッパリと云い、聞いて居た人は声もええ節廻しもええ枝振りもええと云ってほめ、小便へ行って又お茶を飲みガヤガヤ云って「あーたシテを……」と楽しむのが「謡」の定義であると聞いたことがあります。ちなみに地獄の底に千年間封をして漬けて居いた沢庵を取り出して食べる時の様な味の音声を出すのが本当の謡であるとのこと。お茶が水割りに変り小便の回数の差はありますが、まあ、カラオケとあまり変りはありませんな。何しろ謡こそソナツメモの元祖であるのですから……。

故大谷惣次郎先生は謡の会には必ず出席されて居りましたが、謡が好きなのか嫌いなのか最後迄分りませんでした。謡の師匠と取っ組み合わんばかりの大喧嘩をするの

を生き甲斐とされて居りました。前田先生の輝かしい謡歴については以前に書かせて貰ったことがあります。大谷先生に劣らず師匠いじめっ子になることに快感を覚えて居られます。金魚の糞みたいに前田先生にくっついて北海道から九州迄能楽興行さすらしい旅をさせて貰いました。

御存知洩い声で枯淡調の謡口をされる高島先生。抑揚自在に春ののどけさで伸び伸びと謡われる大野先生。月1回、人間国宝に能管を習いに京都へ行き、道草を食つて道草食はぬ顔をして帰って来られる笛吹童子（ハックション）やーさん調謡の藤村先生。ぬか味噌腐敗防止剤製造会社売上金倍増の河内山（キ）先生等、多士さいさいではありますが、惜しむらくは高齢化社会。光医謡会の将来を担われる新人の御入会を切望してやみません。

今年は第43回県医謡会が光市医謡会の引受にて7月21日新建築の新日鉄光労働福祉会館ホールにて開催されます。パチンコ屋のすぐとなりですので何かと便利で楽しい場所です。この日の為に、毎年医師会から戴いて居る部会費を貯めてあります。そのおかげで、参加される先生方に十分なるおもてなしが出来るものと感謝して居ります。大野先生を中心に準備を進めて居る県医謡会が盛会無事に終ります様に……。

◎ 会員異動 (S60. 4. 1入会)

相川裕之 先生

光市立病院 外科

昭和33年2月16日生

現住所 光市島田2丁

目11-18



出身校

- S 51年 3月 私立野田学園高校卒業
 S 52年 4月 独協医科大学医学部入学
 S 59年 9月 同 校 卒業
 S 59年 12月 山口大学医学部付属病院
 第1外科

趣味 スポーツ全般

家族 独身

何か一言 まだまだ医師としては未熟者です。何かと御迷惑をおかけすることが多いと思いますが、御指導、助言の程よろしくお願いします。

my car シリーズ (5)

前田 昇一

フットブレーキが二つある車、これが私と車の最初の出合いであり、今も一番愛着の深い車である。あれは、昭和40年、免許を取って二年目の夏のことで、群馬での学生時代に仲の良い友人四名が企って、自動車で全国一周をしようと云うことになった。

当時のアルバイト先のM自動車教習所所長さんに無理にお願いして、教習所を退いた白のニッサン、プリンスを、「車の保障のほどは定かではないが、よければどうぞ」とのことで、只同然の値で貰うけた。仲間四人は、一人を除き他はペーパードライバーばかりで、その一人も米屋の息子で時に配達用のバンを運転したことがあるだけで、恐いもの知らずの無事故無違反の模範運転手揃いである。「ブレーキを二人で踏んで一人前」と云ったレベルで、まさに的を射る車であったのかも知れない。米と飯盒とテントを携っての無銭旅行で ガソ

リン代と日程と運転の腕前から余儀なく予定を半分に短縮し、前橋から関東以西、東海、京阪、山陰、九州を一周し、山陽路を抜けて名神を走り、東京経由で前橋へ24日の旅を楽しんだ。箱根の坂でオーバー・ヒートと宮崎の浜でパンク以外には事故もなく無事走り抜けたのが不思議である。楽しい思い出の我ががパートナーも前橋に辿り着くや、間もなく旅の疲れが出たか乗れる状態ではなくなり、修理する力も金もなくて廃車となった衰車である。その後、医者になって松江日赤勤務の44年の夏に、初めて専用の車を持った。40年型の白のコロナ45年に嫁さんをもろうとのことで、新婚旅行が中古車ではまずかろうと、一人前に新車を買ったが、やはり白のコロナ。その後緑、シルバーと色のみ変えてみたが、車はコロナばかり、53年よりスルスル走るロータリーエンジンのマツダ車に乗ってみたいくてルーチェに変えて今までずっと白のルーチェ。

写真は、この3月から乗り出した六人乗りのオートマチック車で、ものぐさ運転には便利で気軽な車である。今年も事故のないことを願いたい。

会員諸通達控

◎4月20日(県医) 山口県小児保健研究会第21回総会母子保健研修会について。

◎医業収入等実態調査結果(昭和60年4月山口県医師会)

59年10月1日施行された健保法改正(健保本人1割負担となる)の影響をみることを主目的として、併せて、本年3月1日実施の点数改正のメリットについての

評価資料とする為に県下183の機関に依頼し、回答151を得た。尚調査依頼機関はその影響度が少ないと思われる小児科等若干の科目は対象外とした。

最近6カ月間の受診者件数、診療実日数、医業収入について、前年同月を100とした百分比による調査とし、その結果は別表のとおり。

- (1) 全科分調査集計結果表
- (2) 各科別調査集計結果表(略)

あとがき

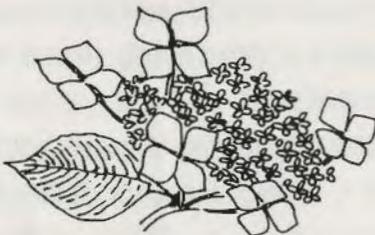
朴先生が牛島を去られ、帰国されて、例会に来られず、何となく寂しい感じがあります。送別会にも多くの会員が出席し、朴先生の人徳でしょう。朴先生お元気で!

今月は、朴先生、河内山先生、前田先生から原稿を戴き、広報担当としてはホクホクです。しかし例会で配布された医業収入等実態調査の結果は予想以上に厳しい結果で、ギクリとさせられます。

医業収入等実態調査集計

科目	全科
----	----

		入 院							外 来						
		年月 59.10	年月 59.11	年月 59.12	年月 60.1	年月 60.2	年月 60.3	6ヶ月 間の 合計	年月 59.10	年月 59.11	年月 59.12	年月 60.1	年月 60.2	年月 60.3	6ヶ月 間の 合計
件数	社 保 単 独 (本人)	73.9	103.0	100.4	130.0	119.7	87.8	85.0	93.5	88.9	90.2	93.7	93.7	92.7	92.3
	社保単独のうち 政管健保のみ (本人)	89.3	119.1	98.6	114.8	123.8	104.4	94.1	93.2	88.8	91.4	91.7	90.3	90.4	90.6
診療 実日数	社 保 単 独 (本人)	85.0	94.1	97.0	154.2	113.8	85.7	78.0	88.7	84.5	85.8	89.5	75.0	87.9	86.5
	社保単独のうち 政管健保のみ (本人)	102.9	154.4	101.5	94.4	96.2	134.5	88.2	88.8	85.9	85.6	87.9	82.7	86.2	85.6
医業 収入	社 保 単 独 (本人)	85.5	94.9	82.1	127.8	111.3	103.0	87.0	77.1	82.5	84.3	85.5	80.5	86.8	83.7
	社保単独のうち 政管健保のみ (本人)	104.7	165.4	93.9	108.8	128.2	213.7	97.8	85.0	81.2	82.9	84.6	77.9	84.9	82.3



発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社